

2025 年 1 月 24 日

諏訪市議会議長  
横山 真 様

陳情者

住所 諏訪市清水 3 丁目 3619 番地 3

氏名 令和 6 年度諏訪市立諏訪中学校 3 学年

代表 堀内 花

## 中門川側道における登下校の安全を求める陳情書

### 【陳情趣旨】

いま、私たち諏訪中生の登下校は危険と隣り合わせです。諏訪中学校付近の道路は長年の使用による路面の凹凸やアスファルトの劣化が著しく、また、人や車両の交通量が多くなる時間帯が生じています。そのような状況の中、細心の注意を払っていても怪我や事故が発生することがしばしばあり、私たち生徒の間で深刻な問題となっています。

諏訪中学校への通学路は大きく分けて 3 路あります。主に四賀小学区から登校する生徒が利用する「中門川の東側道（砂利道）」、みどり区や城南地区の生徒が利用する「歩行者専用橋梁（通称：梶の樹橋）」、湯小路地区などの生徒が利用する「競馬場橋から南に伸びる側道（以下：桜道）」の 3 路です。全校生徒がこの 3 路のいずれかを通学路としていますが、いずれの道路も整備された歩道がないという共通点があります。特に桜道については、私たちの登下校だけでなく先生の通勤や保護者による送迎にも使用されます。しかし、その環境は悪く、以下に示すような問題が浮上しています。

- ① 等間隔に設置されているコンクリートブロックが、車両や歩行者の通行を妨げている。
- ② 舗装された車道の幅員が狭いことで離合が困難であり、歩道となっている砂利の範囲に自動車が入り込んでくるのが頻繁にあり、危険を感じる。
- ③ 歩道となっている砂利道の凹凸が激しく、歩行者が安全に通行できない。

この 3 点の他にも桜道は多くの問題を抱えており、残り 2 路の通学路についても同様に安全上の問題を抱えています。私たちが安心して学校に通えるために、まずは桜道の縁石の撤去や道路の拡張、歩道の舗装または砂利敷きによる凹凸の解消等の具体的な対策を講じる必要があります。

以上の趣旨から、私たち諏訪中生は通学路の環境改善を強く願っています。諏訪市に生きる私たちの切実な思いを、貴議会において熟考していただくよう陳情いたします。

### 【陳情項目】

#### 1. 中門川側道における登下校の安全を求めること